

ビジネスを明るく!

三菱電機
LED Solution



千歳コーポレーション株式会社

LED照明がウェルネス環境の向上にも貢献 ニューノーマル時代のオフィス環境

課題

- ▶ スマートオフィスのコンセプトや先進性を照明計画でも表現する。
- ▶ 光の制御でオフィスワーカーがリラックス/集中できる環境を提供したい。
- ▶ 「居ながらリニューアル工事」を実施するための器具の納期・工期のスケジュールへの対応が必要。
- ▶ 省エネとデザインを両立したプランを予算内で実現するための器具選定。

都心部を中心にオフィス空間の提供を行う千歳コーポレーション(東京都千代田区)は、創立60周年を機に本社の全面リニューアルに着手。「時空を超えた新しい働き方も調和・協働できるリアルなオフィス空間」をコンセプトとする「ライブオフィス」が2021年夏に竣工した。

全面改装したオフィスのリフレッシュエリアに入ると、抜けるような「青空」が

目に入る。天井の青空照明「misola」を、トップライトの自然光と見間違え見学者も多いという。

「コロナ禍で外出を避け、テイクアウトの食事をここで食べる社員が増えました。殺風景な休憩室ではなく、アウトドアの開放感を感じながらランチを楽しむことができます」。社員は「misola」採用の効果を実感していると、同社経営企画部部長の平間善之

三菱電機のソリューション

ニューノーマルに適應する新しい働き方に柔軟に対応する照明計画に加え、空間の快適性向上のため、色温度、照度を時間でコントロールするLED照明の特性を活かすシステムを提案。また、リフレッシュエリアに青空照明「misola」、執務エリアに「レンズ制御ライン照明」などデザイン・納期・コストなどの最適化を図り適材適所で器具の選定を行った。

氏はいう。

テレワーク時代に「オフィス」の本質的な価値を考え直す

感染症対策とデジタルデバイスの進化で、企業のテレワーク導入が拡大し、千歳コーポレーションでも出社率は約50%にとどまる。

「しかし、仕事のすべてがテレワークで完結するわけではなく、必要に応じて人々が集まり、時間を共有できる場がオフィスの本質的価値。ライブオフィスはその進化形を模索。ペーパーレスや人事制度改革、DXはもちろん、出社が楽しみになる快適性やウェルネス環境の



平間 善之 氏
千歳コーポレーション株式会社
経営企画部部長



秋元 伸一郎 氏
千歳ファシリティアーズ株式会社
技術工事業部
移転プロジェクトマネジメント室室長



左ページ：リフレッシュエリアに設置された青空照明「misola」。屋内空間に開放感を与えている。シーン変化を行い、時の移ろいも表現する。右ページ：中上、右上/執務エリアにはレンズ制御タイプのライン照明を設置。MILCO.NETとの連携で明るさ、色温度変化を行い、効率的な運用と時間のメリハリを演出する。中下/プレゼンテーション、会議の内容により会議室も色温度と明るさを変化。用途に合わせた雰囲気となる。

「千歳コーポレーション株式会社」
●所在地：東京都千代田区
●施工：東光電気工事株式会社
●納入年月：2021年4月

PR

三菱電機のソリューション



■ 青空照明「misola」
青空の原理を応用することで奥行き感のある青空と光の自然な差込みを表現する新しい照明です。屋内において開放的な雰囲気を提供します。また昼、朝/夕、夜シーンの変化が可能で時の移ろいを演出します。



■ レンズ制御タイプ ライン照明
レンズを用いて天井面に光を配し空間の明るさを高め、机上面照度を抑制することで快適性を損なうことなく消費電力削減を可能とする新しい照明手法を用いた照明器具です。(色温度可変は特注)



■ ネットワーク照明制御システム「MILCO.NET」
小から大規模施設まで分散管理、集中管理を可能にする照明制御システムです。1種類の通信線で器具個別制御が可能で、細かいセンサ機能や色温度操作など多彩な機能をラインアップ。省エネかつ快適なオフィス空間を実現します。

※「青空照明」は、三菱電機株式会社ならびに三菱電機照明株式会社の登録商標です。

向上を空間的にどう実現するか。照明計画もそうした文脈で考えました」。

千歳グループでオフィスの工事、管理に携わる千歳ファシリティアーズ技術工事業部の秋元伸一郎氏はこう振り返る。同氏は移転プロジェクトマネジメント室室長を務めている。

今回のリニューアルは、同社の移転業務や工事の知見を活かし、業務を継続しつつ「居ながらリニューアル工事」が進められた。納期遅れは工事スケジュールへの影響が大きい。当初、デザイン優先で輸入器具で照明を計画していたが、コストと納期が課題となった。

「三菱電機には、当初のデザインを活かしながら、納期、コストの課題に対応可能な器具やシステムの選定を依頼。先進性、快適性やウェルネスを光でどう実現するか。三菱電機からは、私ど

もが求める機能・性能、条件を満たすプランが提案されました」(秋元氏)。

LED照明が提供する空間価値は省エネだけにとどまらない

快適性と先進性の象徴的な器具が、冒頭で紹介した「misola」だ。自然な奥行き感がある青空照明は、外出を控える社員に、公園でくつろぐような光環境を提供する。さらに昼、朝夕、夜とシーン変化が可能で時の移ろいも演出する。

オフィスの執務エリアには、スマートなライン照明で調光制御も可能な「レンズ制御ライン照明」を配置。レンズを用いて天井面にも光を配し、空間の明るさ感を高め、机上面照度を抑制することで快適性を損なうことなく、消費電力削減にも貢献する。オフィス内の

照明は、ネットワーク照明制御システム「MILCO.NET」で、時間に合わせ色温度、照度を変化させ、屋内でも光で時間の移ろいを感じながら、自然なリズムで仕事ができる環境を実現した。さらに部分的に色温度を変えるきめ細かな制御も行なっている。

「18時以降は、色温度の低い穏やかな光に変化するが、集中して仕事をしたい社員には色温度が高めのエリアも用意して、目的に合わせ自分で光環境を選ぶことができます。こうした細かな設定が可能なのもLED照明ならではの思いです」(平間氏)。

出社率に応じて光環境をエリアでコントロールすることで、さらなる省エネ効果も期待できる。快適性と省エネ性の同時実現こそ、LED照明の本質的な価値といえるだろう。

お問い合わせ



Email misola-info@Mitsubishi-Lighting.co.jp

LED照明の情報はこちら

三菱LED照明

検索